

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・新型の高画素カメラ付き携帯電話の売れ行きが好調であるほか、第三世代の携帯電話もエリア拡大に伴って、徐々に販売数が増加している。また、データ通信系の商品もPHSの定額制導入により好評である。4月は新商品の導入が相次ぎ総じて上向いている。
	やや良く なっている	その他レジャー 施設（職員）	来客数の動き	・3か月前よりは来客数が多くなっているが、観光客の増加、イベント開催に伴う来客の増加によるところが大きい。
	変わらない	商店街（代表 者）	販売量の動き	・今月は選挙が行われたため、縁起物とされる商品の販売量が増加したが、全体としては変わらない。
			お客様の様子	・客は目的がはっきりしていても、商品選びは慎重である。景気がやや悪い状態で落ちてきているのではないかと思う。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価を構成している売上点数および単価が、前年を下回っている状況が続いている。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・札幌駅の大規模複合商業施設のせい、週末の客数が減っている感じである。
		衣料品専門店 （店員）	来客数の動き	・4月はゴールデンウィーク前なので、レジャーにお金を使うためか、客の買い渋りが多く、来店があっても買上につながらない。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・新入学、就職、転勤などの新生活需要も落ち着き、先月に受注した分の配達により売上を維持した。また、月の後半に入り特招会を実施したが、来客数、売上ともに前年からダウンするなど、初売り後の1月と同じ状況であった。
		家電量販店（店 員）	それ以外	・ビデオカメラ、DVDレコーダが前年より上回ったものの、売上金額は前年同月比ではほぼ同じ数値であり、全体としては変わらない。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・グリーン税制の改正による影響から駆け込み受注があったが、売上は前年実績を割るなど、全体としては変わらない。
		一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・繁盛している店と寂しい店との差がはっきりと数字に表れるようになってきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・タクシーは景気が悪化すると真っ先に節約されるものであり、客は必要最低限でしかタクシーを利用していないのではないかとと思われる。
	住宅販売会社 （従業員）	単価の動き	・購買量の落ち込みに加えて、一軒当たりの販売単価も低下している傾向にある。	
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・イラク戦争、SARSなどによる海外旅行の中止により、新規の商品購入が減少している。また、入学式に父兄が着物姿や新しい服装での出席することが減少している。	
	商店街（代表 者）	単価の動き	・今年の春の動きとして、去年ほどアウター要素の強いジャケット等の単価の高い商品が売れないことに加えて、単品中心となっているため、かなり客単価が下がっている。	
	商店街（代表 者）	来客数の動き	・消費の落ち込みにより様々な冠婚葬祭への出費が抑えられている。	
	スーパー（店 長）	来客数の動き	・競合店の売り出し強化のため、客足が分散している状況であり、客数が前年より5%ほど低下している。また、客単価の落ち込みが依然として続いており、景気の厳しさを感じる。	
	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・既存店舗の来客数は前年実績を上回っているが、一人当たりの買上点数は低下傾向にあり、客の購買動向はますます慎重になっている。	
	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・週末の売上が鈍っている。	

	コンビニ（店長）	来客数の動き	・例年に比べて、気温が非常に低いことが原因で、売上がやや悪くなっている。
	家電量販店（経営者）	単価の動き	・仕事がまだ順調に動き出していない時期のため、1～3月から比べると売上が伸びなかった。
	家電量販店（地区統括部）	単価の動き	・客数は、ほぼ対前年比で100%をキープしているが客単価が落ちている。話題商品や健康商品といった付加価値のある商品は高価格でも売れているが、買替商品の単価が落ちていることに加えて、O A商品が相変わらず苦戦をしている。
	乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・今月は当社だけでなく、同業他社においても販売量が減少しているように見受けられる。
	住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が対前年比で10%近く減少しているなど、客の動きが悪く、単価の動きも含めて、売上不振が続いている。
	住関連専門店（従業員）	販売量の動き	・客単価が下落している。
	高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・入込み客数は安定しているものの、全ての面にわたって客単価が低下しているなど、デフレ傾向が強い。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・例年、この時期は5月の連休との端境期となるため売上が悪いが、今年は特に観光客の入込みが悪い。統一地方選挙といった要因もあるが、これを除いても悪い状況である。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・レストランと個室のディナーの売上が減少している。料理自体の売上は前年並みだが、ワインなどの飲物の売上が激減している。宣伝費をかけた高額ディナーは全く売れなかったが、ランチを割引した3日間だけは活況を呈した。選挙活動もディナーに多少響いたようである。
	スナック（経営者）	単価の動き	・団体客の利用が多いが、時間帯にすると8時から10時頃の間であり、その後の時間帯の来客数が少なく、単価の伸び悩みがある。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前は冬のイベントで賑わったが、今月は統一地方選挙の投票日が飛び飛びの日曜日に予定されていたほか、SARS問題、国際情勢の混沌など、多くの特殊要因に見舞われている。元々、4月は年間で最も厳しい月という季節要因はあるが、それにしても地元客を中心に宿泊客数の減少が続いている。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きは少し弱含みに推移している。統一地方選挙の影響で宿泊客の動きが鈍いことに加えて、イラク戦争やSARSの影響に伴う国内旅行の動きに期待したが、それほど大きくなかった。
	タクシー運転手	来客数の動き	・4月は統一地方選挙の影響により、夜の人出が全くなく、前年実績から比べると大幅に減少しているなど、散々な状態である。
	観光名所（役員）	販売量の動き	・SARSの影響で海外からの観光客の減少が顕著である。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店周期が徐々に長くなってきている。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・マンションといった物件への来客数がとても少なくなっている。
悪くなっている	一般小売店〔土産〕（店員）	来客数の動き	・イラク戦争、SARSの影響により旅行客数が低下している。特にSARSの影響はかなり大きい。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・ミドル層からシニア層にかけて売上、販売量がともに減少している。
	百貨店（販売促進担当）	競争相手の様子	・札幌駅の大型複合商業施設の出店により、駅前ゾーンの集客効果を期待したが、予想した買い回りに至らない状態となっている。3月の市内百貨店の状況からみても、商圏の拡大には至っておらず、従来の限られた商圏でのパイの食い合いが直近の動向とみられる。

		スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数はほぼ横ばいで推移しているものの、対前年比では90%程度となっている。また、一品単価も前年をやや下回って推移している。食品部門の客一人当たりの買上点数も先月から低下していることに加えて、これまで堅調に推移していた旅行部門もSARSの影響を受け対前年比70%まで悪化している。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・天候の良し悪しに関わらず、給料日前には客の購買が一気に下落する傾向にある。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・統一地方選挙やイラク戦争があるなど、客が落ち着かない日が続いたため、今月の売上は非常に悪くなっている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・イラク戦争、SARSといった件に加えて、札幌駅の大規模複合商業施設のオープンもあり、ますます客数が減少している。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が前月比で数百人の減少と手がつけられないほど悪化している。ライバル店に殺到している様子もなく、一体どうなっているのか。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・イラク情勢、アジア地域のSARS感染等で旅行客が減少し、来客数が前年同月の90%程度まで落ち込んでいる。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・4月は歓送迎会が少しは増えるかと思っただが増えず、逆に統一地方選挙の影響で役所・建設関係を始め、その他諸々の人達も飲食店街に出ることはなかった。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク戦争に加えSARSの影響で海外旅行客が激減している。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・SARSの影響が大きく旅行控えになっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・イラク攻撃、SARSの影響で海外旅行は前年を大きく下回っている。国内旅行へのシフトも進んでいない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・例年4月は雪解けとともにタクシー利用が減少するが、今年は統一地方選挙があるため、例年以上にタクシーの利用が減っている。特に夜間の利用が極端に減っている。
企業動向関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	金属製品製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・学校、老人健康施設、マンションなど大型物件への納入が増えている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・凍結されていた設備投資について、部分的ではあるが再開される動きが出てきた。
	変わらない	食料品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・入学シーズン時期に加えて統一地方選挙もあり、総じて減退時期ではあるが、低温や日照時間不足といった天候の不順による需要の減少の影響も大きい。
		食料品製造業（団体役員）	それ以外	・景気の不透明感やイラク戦争処理、株価の7千円台割れ、銀行の不良債権の増加、ゴールデンウィークの飛び石連休、世界に広がるSARSの影響など、日本経済に対して悪い状況が増すばかりである。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・受注数量の減少に歯止めがかからない状況である。特に新規取引先の倒産、操業停止状況の工場が多発している。
		金融業（企画担当）	それ以外	・設備投資に動きはみられない。また、大型商業施設の開業が相次ぐ小売業者や、公共投資減少の続く建設業者で競争が厳しく、利益確保が困難になっている。
	司法書士	取引先の様子	・4月は住宅関連、建設関連がやや上向き傾向となっているが、依然として不安定であり、全体としては変わらない。	
やや悪く なっている	広告代理店（従業員）	取引先の様子	・函館は観光で食べている街であるが、札幌駅の大規模複合商業施設のオープンの影響もあってか、観光客の入込みは今ひとつの状況となっている。また、流通・ディーラー等各業界とも広告費の引き締めが更にきつくなっている。	

		その他サービス業 [ 建設機械リース ] (支店長)	取引先の様子	・ 調査機関より、取引先の信用調査の問合せが増えてきた。
		その他非製造業 [ 機械卸売 ] (従業員)	受注価格や販売価格の動き	・ 倒産、廃業した工場で使用していた生産設備が中古品として格安で市場に出回り、新品の機械が売れなくなっている。
	悪くなっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・ 史上空前の株安によるマインドの冷え込みと、医療費など公的支出の大幅増に対する自己防衛から、その分を食費の切り詰めでカバーしようとしている。
		その他サービス業 [ システムハウス ] (経営者)	受注量や販売量の動き	・ 受注量が激減し単価は更に下がり続けている。周りでも人余りの話ばかりが聞こえてくる。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・ 有効求人倍率は9か月連続して前年同月を上回っている。
	変わらない	求人情報誌製作会社 (編集者)	求人数の動き	・ 建築、土木関連は減少しているが、レストランや居酒屋などの飲食店、加工関連業で増加しているため、相対的な求人件数に大きな変化はみられない。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	求人数の動き	・ 2、3か月前とは大きな変化はなく、また、前年同月と比較しても若干のプラス傾向となっている。ただし、中身を見ると、建設業では20%くらいのマイナス、逆に医療・介護系や小売業では大きな伸びを示しているなど、業種的にはかなりの偏りがみられる。
		新聞社 [ 求人広告 ] (担当者)	周辺企業の様子	・ 駅前の空洞化による地元百貨店や中小零細商店の不振が目立つ。
		新聞社 [ 求人広告 ] (担当者)	それ以外	・ 依然として人材募集広告が低迷し続けてはいるが、求人広告全体としては対前年比でほぼ横ばいの状態が継続している。
		職業安定所 (職員)	雇用形態の様子	・ パートや臨時職員の求人は増えているが、正社員の求人は少なく、事業主都合の退職者も増加している。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・ 管内の有効求人倍率は対前年比を上回ったものの、相変わらず低い数値で推移している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・ 雇用が長期にわたる求人が減少している。
	悪くなっている	-	-	-